

地域の会 質問・意見書

日付： 2023年 1月 17日

氏名： 宮崎 孝司

新潟県

に対する 質問 ・ 意見 (いずれか○)

◎ 1 住民避難訓練における“避難所までの訓練”について

1月11日の地域の会で新潟県から私が指摘した「“避難所”まで避難する訓練は行われていない」とすることに対して、写真付きで「行われている」と報告されました。

私は令和2年と令和3年の避難訓練で「妙高市」への「バスによる避難訓練」に参加してきました。写真からして、あれが“避難所”だと説明されれば、確かに「会場入り口で、顔認証を受け、その後、避難所に置かれる間仕切りや簡易ベッド等を見学しました。これで避難所に行ったとは、承服できません。私が求めている“避難所”は、避難民が生活する場所や機能を示してもらうことです。

具体的に質問します。

- 質問 1. 令和3年の写真に写された避難所は、柏崎のどの“町内”が入る避難所でしたか。
収容世帯数と人数は何名か、
2. バスの避難者は“顔認証受付”しましたが、自家用車で来る人は“受付”をどのようにするのですか。写真に写された避難所のどこで、どのように行われるのですか。
3. バスで行った高齢者は、どの部屋で生活するのですか。間仕切り部屋ですか。
4. 県が手配する救護所は、どの部屋（場所）に置かれるのですか。
5. 初期段階の避難所運営に当たる「妙高市」の職員はどの部屋（場所）にいるのですか。
6. その“町内”から来る自家用車の駐車場はどこですか。

駐車場が奪い合いにならない対策はどうなっていますか。

写真に写された避難所の建屋図を示して説明してください。

なお言えば、私の避難経由所は、妙高市の”杉ノ原スキー場“です。

7. 杉ノ原スキー場を避難経由所とした避難訓練が行われたことがありますか。

以前、地域の会で福井県おおい町を視察したとき、町が作成した「住民避難計画」書を戴いた。ここには、新潟県とは違い町内ごとに避難所がきちんと示されている。

これは、県内避難の場合となっているが、県外の避難先も町毎に示されている。

おおい町 原子力災害 住民避難計画

(表16つづき)

小学校区	人口	大字・町名	字・丁目名	人口	小計(a)	避難先市町名	拠点避難所	避難所
青戸区	226							
1の1区	85							
1の2区	50	96	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市立敦賀南小学校			
2区	46							
13区	326	326	敦賀市	敦賀市総合運動公園	金山体育館			
3区	81							
仲の町	91	252	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市立黒河小学校			
5区	80							
6区	116	278	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市立常宮小学校			
8区	53							
9区	41							
10の1区	41							
10の2区	27							
11区	28	589	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市武道館			
12の1区	78							
12の2区	41							
14区	93							
7区	76							
15区	273	712	敦賀市	敦賀市総合運動公園	プラザ萬象			
尾内	167							
長井 長井、東浜	182							
山田	52							
芝崎	41							
野尻 野尻・楊梅苑	270	669	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市立気比中学校			
父子	181							
岡田	312							
小堀	108							
犬見	68	271	敦賀市	敦賀市総合運動公園	敦賀市敦賀南小学校			
成和	271							
	8,288			8,288	8,288			

※「拠点避難所」は以下の機能を有する。
 ・避難車両の一時保管
 ・住民を避難施設へ移送するバス乗り換え場所
 ・避難住民の休憩・救護

地域の会 質問・意見書

日付： 2023年 1月 17日

氏名： 宮崎 孝司

東京電力

に対する 質問 ・ 意見 (いずれか○)

質問 1—1 1月11日の地域の会で、安田層と古安田層の不整合地点について質したが、以前の回答と変わりなかった。回答は不整合地点が横山の地下にあるという。参考に送った地質図によれば、横山の丘陵は全部安田層からなっていると記されている。古安田層はその下というわけだから、不整合は地下深くにあることは理解できる。ボーリングで得たコア写真も見ている。

再度質問するが、参考に送った地質図の「夢の森公園」の丘は、上部は安田層(y)、下部は古安田層(PY)に、塗り分けられている。安田層、古安田層、ともに地表に出ている。不整合が見られる箇所はふんだんにあると言える。公園内は山肌の見えるところなので、この辺りで示してほしい。

問 1 - 2 横山の不整合は2013年4月18日の安田層の調査報告でなされている。それ以外に不整合箇所が確認されていないにもかかわらず、2015年6月の第241回審査会合に「中央油帯背斜地質図」が提出された。何を根拠に作成した地質図か。作成手法や根拠を説明してほしい。

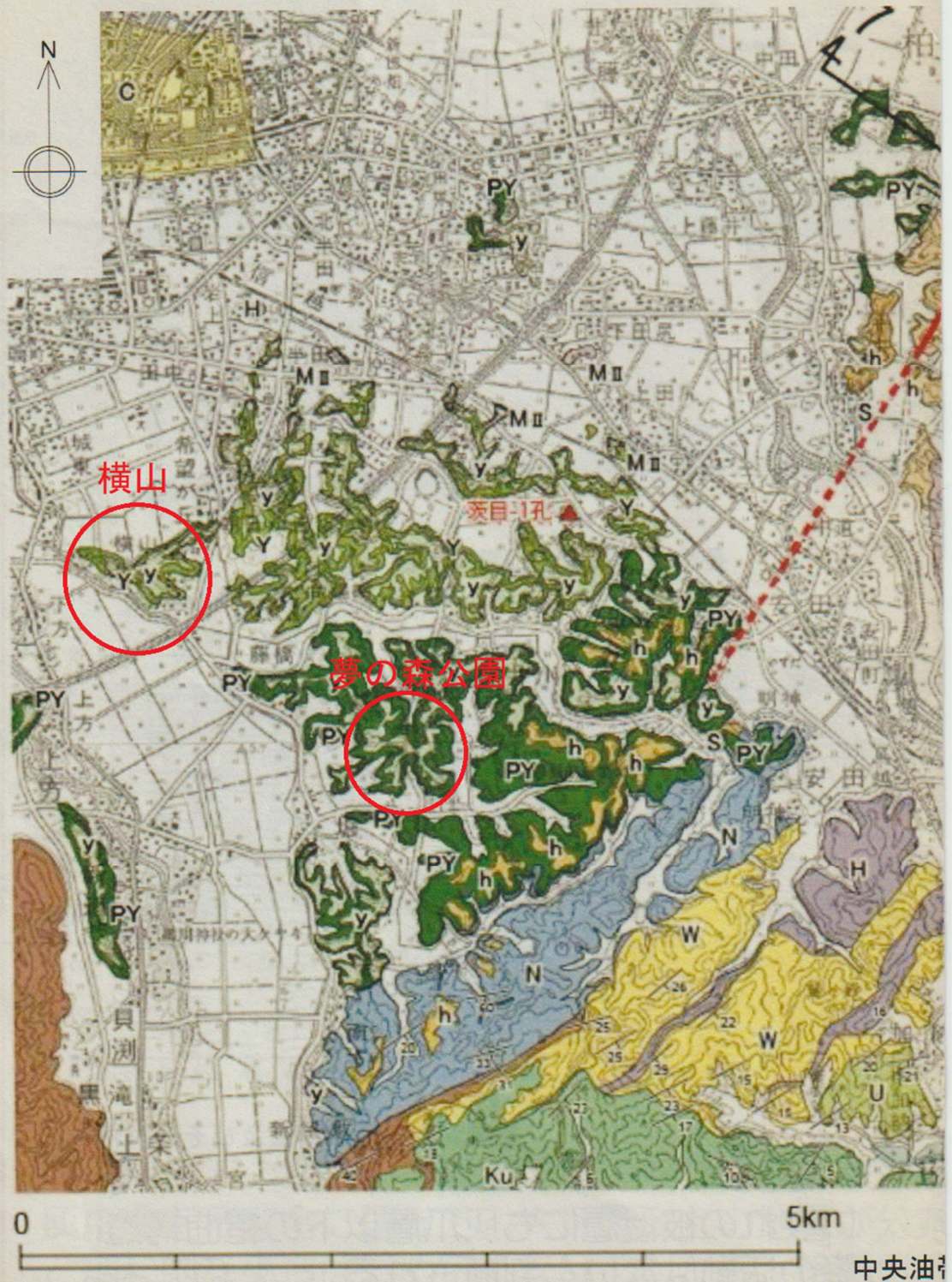
質問 2 1月11日の地質の質問に対し、「柏崎平野南東部の丘陵」の調査を2019年11月から翌年3月にかけて行い、論文が2022年12月完成して、専門誌に投稿し、今は査読中という。

これまで、論文の概要に当たる報告書を載している。A「安田層の堆積年代に関する地質調査 報告書 平成25年4月18日」と B「柏崎平野南東部に分布する高位段丘堆積物の年代の検討 金子聡志 金戸俊道 東京電力ホールディングス(株)」である。報告書Bに柱状図が載っているが、図が小さく不鮮明で判読できない。地質の検討において鮮明な柱状図が欠かせない。論文とは別に6本の柱状図だけでも提供されるよう要請してきたが、応じてもらえない。提供を拒む理由を聞かせてほしい。

以上

「中央油帯背斜地質図」を添付します。

(参考) 中央油帯背斜南部



TEPCO

中央油帯